

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
		○		

事務事業No 487 事業名 和歌山公園管理事業（南別館）

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		商工費	
	項		観光費	
	目		和歌山公園管理費	
	大事業		和歌山公園管理事業	
事項		和歌山公園管理事業（南別館）		

「3つのキーワード」との関連性

いのちを守る	人と文化を育てる	ふるさと力を高める	該当せず
			○

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	3	観光の振興
施策	1	観光客受入体制の整備
取組	3	和歌山公園の整備・管理運営

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間	H20	～	
事業実施の根拠法令			
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	和歌山城整備企画課	山本 勝久 (435-1044)	
関連課			

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）	事業内容				
	環境の良い職場で効率よく職務に従事することにより、より一層市民サービスの向上につなげていく。	施設の老朽化に伴う施設修繕や耐震改修などを含めた、庁舎南別館の維持管理を行う。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		需用費等の維持管理経費の支出行為。	需用費等の維持管理経費の支出行為。	需用費等の維持管理経費の支出行為。	需用費等の維持管理経費の支出行為。	需用費等の維持管理経費の支出行為。
		南別館公共下水切替工事及び7件の所々修繕を実施。	12件の所々修繕を実施。南別館耐震診断を実施。	15件の所々修繕を実施。	10件の所々修繕を実施。	

2 事業コスト

	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算
事業費	7,018	4,698	14,763	14,328	7,631	7,614	13,328	8,558	9,414	
伸び率 (%)	-	-	110.4%		-48.3%		74.7%		-29.4%	
人件費	常勤職員	7,063	9,154	4,210	4,210	4,873	4,873	4,192	4,123	4,122
	非常勤職員							1,481	1,502	1,001
	小計	7,063	9,154	4,210	4,210	4,873	4,873	5,673	5,625	5,123
国庫支出金			1,606	1,915						
県支出金										
市債										
その他										
一般財源 (税等)	7,018	4,698	13,157	12,413	7,631	7,614	13,328	8,558	9,414	
所要人数	常勤職員	0.92	1.19	0.55	0.55	0.65	0.65	0.56	0.56	0.56
	非常勤職員							0.29	0.29	0.19
主な予算内訳	設計委託料 (2,342千円)									

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	単位	全体目標値	全体目標達成度	年度目標値	実績値	実績値	実績値	実績値	
修繕件数				年度目標値					
				実績値	7	12	15	10	
単位				年度別達成度					
				年度目標値					
単位				実績値					
				年度別達成度					
成果指標				年度目標値					
				実績値					
単位				年度別達成度					
				年度目標値					
単位				実績値					
				年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか	○	急いで取り組む		中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	平成27年に開催される和歌山国体を視野に入れ、南別館の資料展示室の改修に伴う耐震改修とその周辺整備を行わなければならない。
「見直し」「改善」案 ※上記、「今後の方向性」において、「事業内容」、「コスト投入」の方向性が共に「現状維持」以外の場合は記載	現行の資料展示室をより充実したものにするため、耐震計画の策定や空調設備の計画的な入れ替え等を行っていく必要がある。